

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26	ケアプランに至る経過を観察することはできているが、課題解決の方策を立案後、チームがプランを実践につなげる力が弱い。日々の状態のモニタリング力が弱く、状況の変化の都度、プランの評価のためのケアカンファレンスの招集が遅い。	介護職員がケアカンファレンスを主体的に開き、ケアの実践状況と及びプランと利用者状況に乖離がないかをモニタリングできるようになる。	①就業時に受け持ちの利用者のケアプランを読む。②ケアプランを実践した結果、どうであったかを記録する。③リーダーは、変化のある利用者の状態を自分の目で確認し、解決についてどうするべきか、自分で考える。④ケアカンファレンスは、毎週日曜日に開催する。	12ヶ月
2	42	口腔ケアは、毎食後行ってはいるが、ケアが人任せになっている職員がいることで丁寧なケアにはなっていない。職員間でケアの重要性についての認識に温度差がある。	口腔ケアの重要性を職員個々が認識し、利用者の口腔内の衛生状態の改善に取り組むことができる。	①毎食後のケアを継続する。②毎日の受け持ち利用者に対して、自分の勤務が終了する時間までに、丁寧なケアを行う。③それによって、義歯の具合や口腔内の汚れの多い箇所を見つけ、ケアするとともに申し送る。	12ヶ月
3	54	居室の床掃除はできているが、ベッドの汚れや窓、整理整頓、衣類の整理などができていない。また、家具や置物などにも配慮して快適かつ居心地の良い生活空間にする工夫がたりない。	清潔な生活環境と、快適な暮らしができるように居室の環境を整えることができる。	①利用者自身が、自分の居室の掃除ができるように支援する。②掃除後に職員が確認する。③毎月1回、窓、家具、置物、衣類の整理を行う日を設け、利用者と一緒に整理整頓を行う。	8ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。